

市民公開講座

横浜国立大学大学院

建築都市スクール“Y-GSA”

「横浜建築都市学」

「横浜国立大学大学院／建築都市スクール“Y-GSA (Yokohama Graduate School of Architecture)”」では、横浜市の協力のもと、横浜市民にも一般公開する講座「横浜建築都市学」を設置し、建築・都市・社会を相互に関連づけながら「住むに値する都市」を問いかけていく。私たちが生活する都市は経済活動を活性化するためにつくられている。必ずしもそこに住む人のためにつくられているわけではない。そこに住む人こそが主人であるという都市を私たちは目指したい。

1 都市講座「都市を動かす」

都市横浜は現在も刻々と変化し続けている。みなとみらい21での超高層ビルの建設ラッシュや横浜駅周辺地区の大改造計画など、今、都心部は大きな転換期を迎えていると言っても過言ではない。このような都市の変化は、単純な空間論、都市論で構想され、実現されているわけではなく、その背後には「都市を動かす」大きな力が働いている。社会や経済の仕組みであったり、企業や人、都市に対する考え方、様々な要素が絡み合って、初めて都市は動いていく。今年度の都市講座は、このような「都市を動かす」力や、人、モノ、コトに焦点を当てながら、様々な視点から都市について論じていく。コーディネーター：小林重敬、鈴木伸治

2 建築講座「新しい建築を目指して」

近代以降、建築デザインは常に「新しい建築」を追い求めて来た。この100年間に新しい工法や材料、空間やビルディングタイプなど、様々な発明が行なわれた。そして、その近代建築をつくってきた考え方が限界を迎えた今、「新しい建築」とは何なのかを問い直す必要がある。建築講座では建築の専門家だけでなく、様々な分野から講師を招き、「新しい建築」について議論していく。コーディネーター：山本理顕

主催：横浜国立大学大学院／建築都市スクール“Y-GSA”+横浜市
お問い合わせ：Y-GSAスタジオ Tel:045-226-5423
E-Mail:ygsa@ynu.ac.jp <http://www.ygsa.ynu.ac.jp>



「都市の行動学

—集客都市～都市の文化とその未来—

講師：橋爪紳也（建築史家、大阪府立大学特別教授）

司会：小林重敬（Y-GSA特任教授）

鈴木伸治（横浜市立大学国際総合科学部准教授）

11月14日[金] 18:00-20:30(開場17:30)

会場：横浜市開港記念会館 講堂（横浜市中区本町1-6 みなとみらい線日本大通り駅 1番出口すぐ）

橋爪紳也（はしづめ・しんや） | 1960年大阪市生まれ。大阪府立大学産学官連携機構教授。大阪府立大学観光産業戦略研究所長。大阪市立大学都市研究プラザ特任教授。京都大学工学部建築学科卒業、大阪大学大学院工学研究科博士課程修了。工学博士。建築史・都市文化論専攻。著書に、「あつたかもしれない日本」（紀伊國屋書店）、「モダニズムのニッポン」（角川選書）、「ゆく都市くる都市」（毎日新聞社）他多数。ディスプレイデザイン研究大賞、エネルギーフォーラム賞優秀賞など受賞。

「空間の力」

講師：鷺田清一（大阪大学総長）

司会：山本理顕（Y-GSA校長）

12月12日[金] 18:00-20:30(開場17:30)

会場：横浜市開港記念会館 講堂（横浜市中区本町1-6 みなとみらい線日本大通り駅 1番出口すぐ）

鷺田清一（わしだ・きよかず） | 1949年京都市生まれ。大阪大学総長。哲学をベースに身体、他者、所有、規範、制度などの問題を論じてきたが、近年は「語」論、モード論の独自の研究領域を開くとともに、現在は哲学の発想を社会が抱え込んだ諸問題へとつないでいく臨床哲学のプロジェクトに取り組んでいる。著書に、「現象学の視線」（講談社学術文庫）、「ちくはくな身体」（ちくま文庫）、「めいわくかけて、ありがとう」（講談社、近刊）他多数。1989年サントリー学芸賞受賞。

※講師の都合により急遽変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

Y-GSA